

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [金沢市立額小学校] 担当教諭名 [松原 乃里子] (6年2組 33名)

交流相手国 [アメリカ]

海外学校名 [Orange Grove Middle Magnet School of the Arts] 担当教諭名 [Jody Chandler]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	金沢を知り 日本を知り 世界を知ろう	40

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	地域の文化(お祭り)
絵に込めたメッセージ	富士山に象徴される日本には数え切れないくらいのお祭りがある。お祭り太鼓の音と共に、日本人の血の中に流れる心意気をいろいろなお祭りを描くことで表したい。日本のお祭りの躍動感が伝わるように描き、お祭りのすばらしさを世界に発信したい。



日本側で描いた半分 富士山を背景に14の日本のお祭りを描く。日本列島からは友情の絆の橋が架けられる。



アメリカから戻ってきた絵にはフロリダ州タンパのビル群やオールドアメリカを象徴するグッズや場所が描かれる。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
金沢や日本の文化について理解が進んだ。 コミュニケーションツールとしての英語の必要性を実感した。 情報収集のためのパソコン活用のスキルが伸びた。 児童が同じ地球の仲間として世界の人々と仲良くし、協力していかなければならないという思いを持った。	交流に対する相手国との温度差が大きかった。たとえTV会議が時差の関係で不可能であったとしても、フォーラムに何度書き込んでも返事が遅かったりして、児童は具体的な相手がいるという事を意識することがなかなか出来なかった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
卒業式で絵と交流の概要を体育館に飾った。児童の頑張りを多くの方々に見て頂くことが出来た。	5年生の「きれいだなあ」「すごいなあ」という感想が多くあった。卒業生の保護者がたくさん写真に撮っていた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月	『金沢を知ろう』で百万石祭りについて調べ、ステッカー作りをした。金沢星稜大学から清水先生・学生さんをお呼びして、ワークショップをしてもらった。	ステッカーを海外の友達にプレゼントしようとワクワクしていた。『世界が100人の村だったら』のワークショップから、まだ見ぬ友達との交流の期待が増した。	総合8
情報収集	9月	英語の自己紹介と学校紹介をVTRに撮ってYou Tubeに限定公開した。日本のお祭りを日本語でパワーポイントで製作し、それを英語版に作り替えたものを更にアップした。	自己・学校紹介くらいの英語はそれほど困ることもなく、自分達を中心になってVTR撮りをするのが出来た。PCの翻訳機能を使ってお祭りの様子を英訳するのは、とても苦労していた。	総合15
テーマ検討	10～11月	相手にテーマ『Local Festival』を伝えた。相手が賛同したので、下書き案を5枚作成して候補を選ぶように依頼したが、返信はなかった。こちらでデザインを決定した。	どのお祭りをどこに配置するか、日本らしさを表す象徴は何にするのか、相手国との絆を何にしようかとかなり悩んだ。結局、富士山の前に14のお祭りを並べ、絆の橋を架けることになった。	総合8
制作	12月	33人が半分に別れて、2グループ制になって1時間ごとに交代して描いた。下書きで丸1日、彩色は2日がかかりようやく絵が完成した。	周りのおおざっぱな部分から描き出し、中心となる細かいところは最後に丁寧に描いた。富士山やそれぞれのお祭りのとてもきれいな仕上がりに児童はとても満足していた。	総合7
鑑賞	3月	星稜大の清水先生・学生さん達と一緒に、3クラスで戻ってきた3枚の絵を鑑賞した。	相手が絆の橋の続きをフロリダ半島に架けたことや、オールドアメリカの雰囲気に触れることができて喜んでいました。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:あまり重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	金沢や日本の文化についてよく調べ、今まで知らなかったお祭りについてプレゼンを作るなど、よく頑張っていた。
異文化の理解	A	3	社会の学習でも、言語、文化、教育、食事など様々なことについて調べる時間を取った。一般的な知識は身についた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	時差の関係でTV会議は無理だった。しかし、これまでの英語の学習を生かして自己紹介をVTR撮りすることが出来た。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	インターネットを使って、自国のお祭りや相手国の情報を自力で調べるスキルがアップした。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	2	相手の反応が遅く、自己紹介写真は12月に、それも解読不能な英語で書かれているという状況で、友達作りは出来なかった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	相手との協働はほとんど出来なかった。こちら側での協働は、たくさん話し合いの時間を費やして満足できる状況まで至った。
学習を追究する意欲	B	3	調べ活動は意欲的に取り組めたが、相手との関わりの中から追究しようという意識が生まれなかった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	5	日本の象徴、お祭りの表現、絆のシンボルなど、きちんと描き表せた上にとってもきれいな仕上がりに大満足していた。
作品を鑑賞する力	C	3	文化が違うので、相手の絵が何を表しているかまで調べて理解するまでには至らなかった。